

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告の方法により行います。 但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載アドレス http://www.kawai.co.jp/ir
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 郵便物送付先	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないために特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払い配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



株式会社 河合楽器製作所

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地
Tel.053-457-1213 Fax.053-457-1300
URL:<http://www.kawai.co.jp>

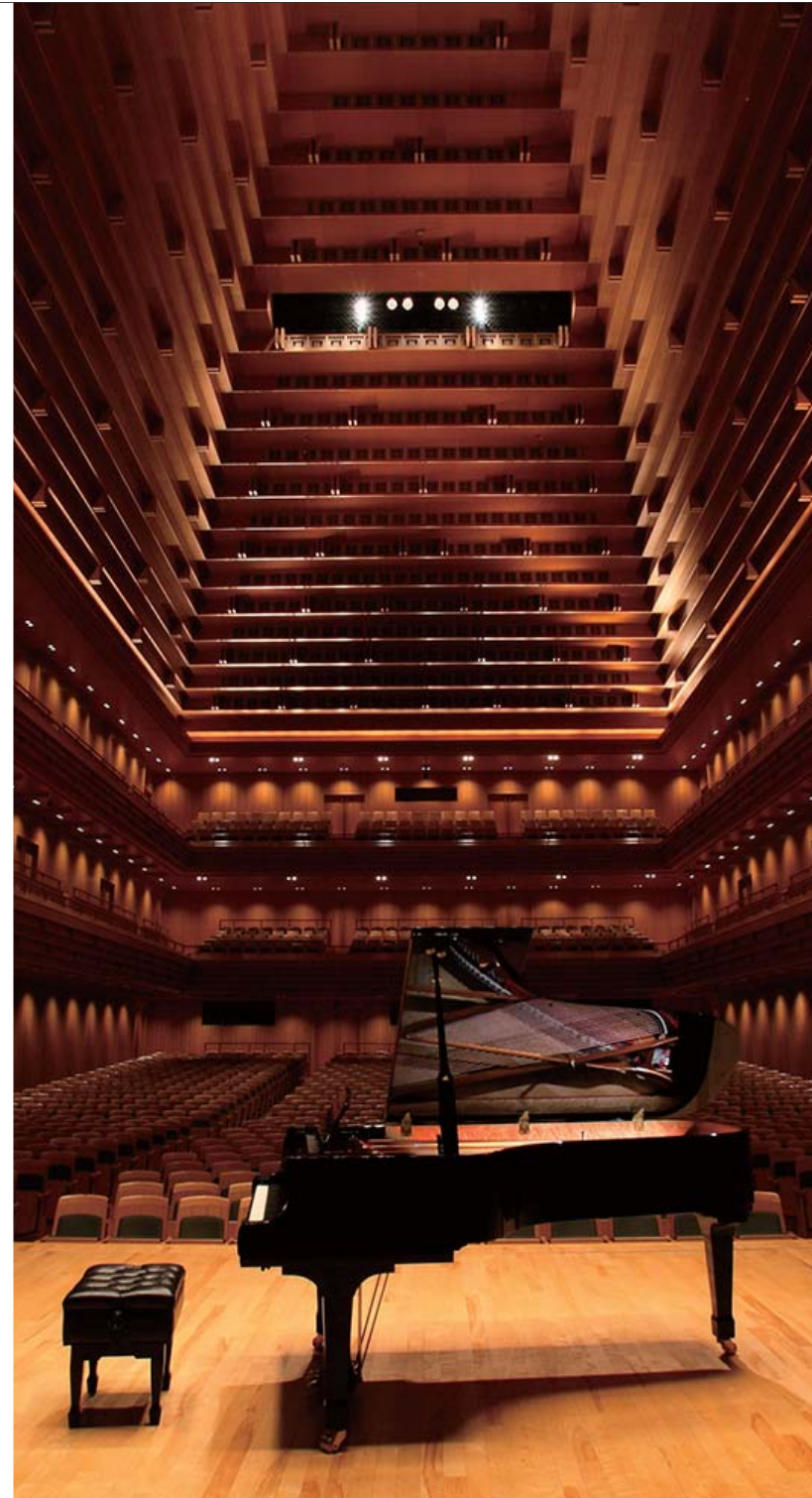
KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

第86期 中間報告書

2012年4月1日～9月30日

KK 株式会社 河合楽器製作所

証券コード7952





株主の皆様には、平素、格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。
第86期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当上半期のわが国の経済は、東日本大震災の復興需要を背景として緩やかな景気回復の動きが見られたものの、欧州の金融不安の継続や中国経済の成長鈍化等による世界経済の減速懸念、円高の長期化などから先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは「第3次中期経営計画」に基づき、楽器事業におけるグローバルブランドの確立に向けた施策をはじめ、各事業セグメントの重点施策に取り組みました。

中間配当につきましては、期末1回の配当を基本方針とさせていただいているため、引き続き見送ることとさせていただきます。

今後も国内外とも厳しい経営環境が予想されますが、「第3次中期経営計画」最終年度の目標達成に向けて積極的に取り組み、株主の皆様への還元を図るとともに、企業価値の向上に努めてまいります所存であります。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年12月

取締役社長

河合弘隆

当上半期は、楽器事業ではモデルチェンジした最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』を軸としたグローバルブランドの確立に取り組み、海外では世界最大のピアノ市場である中国において生産・販売・音楽教室・調律の四位一体体制による事業拡大に積極的に注力いたしました。また、グローバル生産体制の強化を図るとともに、将来成長が期待される新興国での販売拡大に向けた施策を推進いたしました。

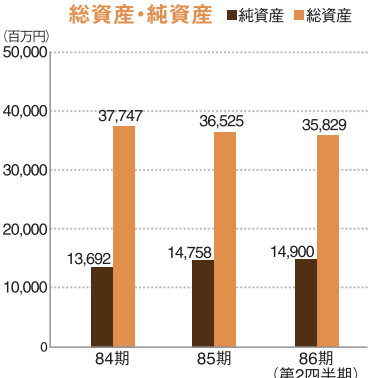
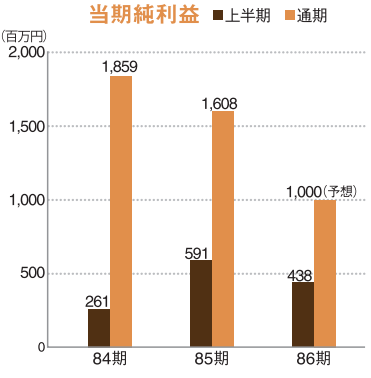
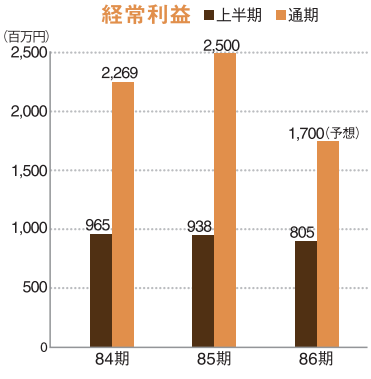
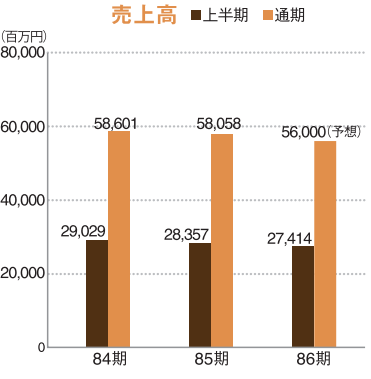
教育関連事業では市場に即した教室展開による収益力の確保をはかり、素材加工事業では引き続き受注量の拡大や生産効率の改善に努めました。

この結果、売上高は27,414百万円（前年同期比943万円3.3%減）となり、このうち国内売上高は19,466百万円（前年同期比1,018百万円5.0%減）、海外売上高は7,948百万円（前年同期比75百万円1.0%増）となりました。

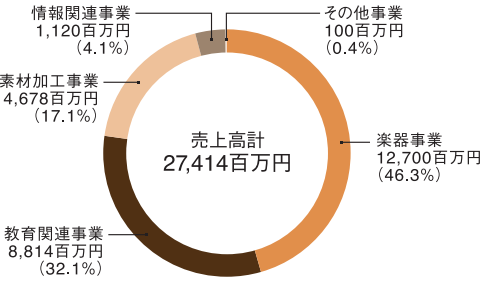
損益面では、営業利益は922百万円（前年同期比243百万円減益）となり、経常利益は805百万円（前年同期比133百万円減益）となりました。また、四半期純利益は438百万円（前年同期比153百万円減益）となりました。

総資産は35,829百万円（前期末比696百万円減）、有利子負債は3,541百万円（前期末比533百万円減）となりました。

業績ハイライト



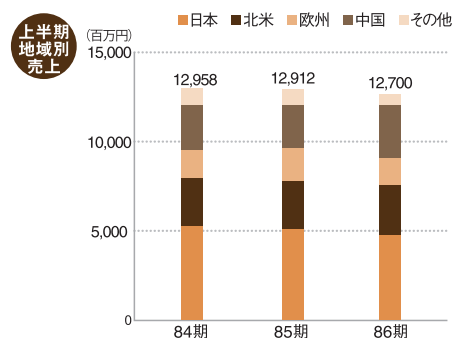
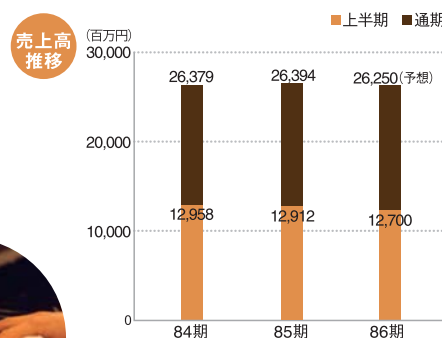
事業セグメント別の売上構成



各事業セグメントの概況

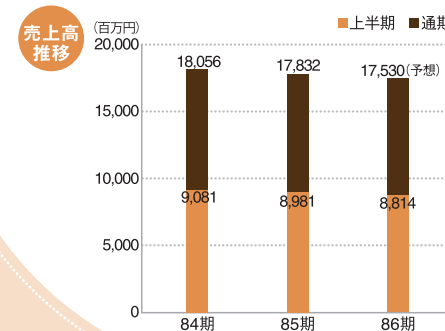
楽器事業

海外のピアノ販売は、欧州では個人消費の低迷や円高の影響により減少しましたが、中国において引き続き好調を維持し、北米でも堅調に推移しました。国内のピアノ販売は、最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』が堅調に推移しましたが消費マインドの冷え込みにより減少しました。電子ピアノは中国で販売を開始したことなどにより伸長しました。電子オルガンについては大型機種の販売が減少しました。売上高は12,700百万円（前年同期比1.6%減）となり、営業利益は24百万円（前年同期比252百万円減益）となりました。



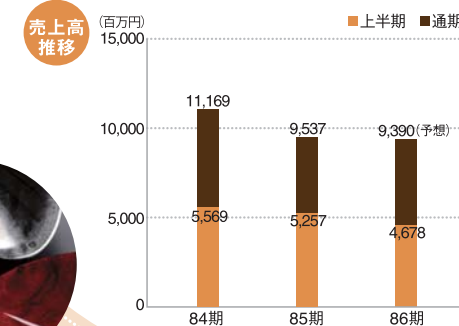
教育関連事業

幼稚園・保育園教場の開拓に積極的に取り組みましたが、音楽教室の生徒数の減少により、売上高は8,814百万円（前年同期比1.9%減）となり、営業利益は788百万円（前年同期比7百万円減益）となりました。



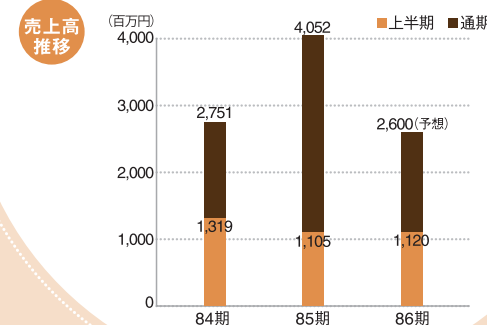
素材加工事業

自動車関連部品の受注が増加する一方、半導体関連部品の大幅な受注減少があり、売上高は4,678百万円（前年同期比11.0%減）となりましたが、営業利益は売上構成の変化や経費削減の徹底により297百万円（前年同期比17百万円増益）となりました。



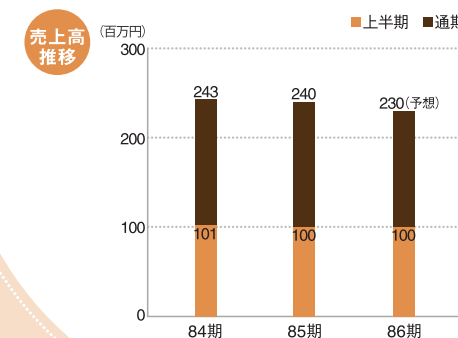
情報関連事業

ソフトウェア開発の受託増加などにより、売上高は1,120百万円（前年同期比1.4%増）となり、営業損失は30百万円（前年同期比23百万円改善）となりました。



その他事業

当セグメントの売上高は100百万円（前年同期比0.0%減）となり、営業損失は18百万円（前年同期比11百万円悪化）となりました。



SHIGERU KAWAI ブランド戦略

🎹 ブランド価値の明確化～Shigeru Kawai = KAWAI～

当社のフラッグシップモデルShigeru Kawaiは、1999年に誕生して以来、国内外で高い評価をいただいてまいりました。2012年、そのShigeru Kawaiをさらに進化させたニューモデルShigeru Kawaiを発売いたしました。当社は、このShigeru Kawaiのブランドを確立させていくことが「KAWAI」ブランド全体の価値を向上させることにつながると考えております。そこで、社員や関係者がShigeru Kawaiのブランド価値を正しく理解し共有すること、顧客にブランドの価値を正しく浸透させることを目的に、ブランドスローガン“ピアノという革新”を掲げ、ブランドステートメントを制定いたしました。

Key Visual 【キービジュアル】



Shigeru Kawaiブランドの価値観などを可視化したもので『ピアノという革新』と共に描かれた輝く円形のデザインは、常にピアノを革新し続けるブランド価値を、地平線から登り常に地上を照らし続ける太陽に見立ててイメージしたキービジュアルです。革新を続けるShigeru Kawaiがピアノの価値を、演奏者の表現力を常に広げ続けていくことを表しています。

Brand Statement 【ブランドステートメント】



Shigeru Kawaiブランドの価値観・ポジショニングなどを明文化したものでカワイのピアノづくりの歴史など、過去から現在までの「ファクト＝事実」を集めました。Shigeru Kawaiに関わる全ての社員は、このブランドステートメントを基準としてまいります。

🎹 ブランド価値の共有～ブランドブックとDVD制作～

Shigeru Kawaiのブランド価値を顧客に着実に伝えるために、ブランドブックならびにDVDを制作いたしました。



今後は、ブランド要素を過不足なく高いクオリティで、効率よく展開し、来店者への印象付けを徹底するため、店舗における「プレゼンテーションの統一」をはかってまいります。

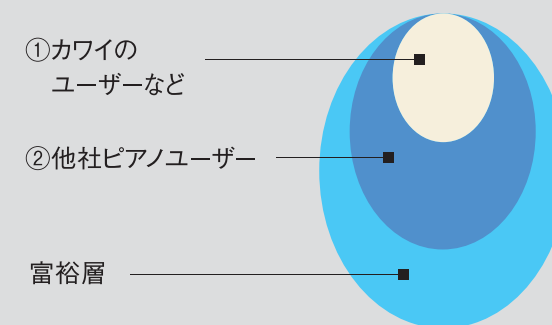


🎹 ブランド価値の浸透～集客から顧客へ～

Shigeru Kawaiのブランド価値の外部への浸透をはかるため、当社は集客ターゲットのうち、右図の①の方々に対してはブランドブックなどを活用した訪問と営業マンのサポート体制を構築し、②の方々に対しては「有名ピアニストによる『プライベートコンサート』への招待」といったキャンペーンなどにより顧客を発掘する施策を行ってまいります。

当社はこのブランド戦略により、集客から販売・顧客化へ、さらにカワイファンの拡大へとつなげ、Shigeru Kawaiブランドの確立をはかってまいります。

Shigeru Kawaiの集客対象



カワイのアジア展開

◆インドに旗艦ショールームオープン

7月9日、新興大国インドの首都デリーにカワイ専門の旗艦ショールームがオープンしました。当社の取引先シーミュージックはカワイ専門の直営ショールームをインド国内に有し、今回で6店舗目となります。ピアノや電子ピアノの普及率がまだ低いインド市場で、当社のピアノ、電子ピアノの需要を創造すべく積極的に活動しております。



◆中国に電子ピアノ生産会社設立

10月14日、中国および日本向けの電子ピアノ生産の拠点として上海に新たに設立した生産会社の開所式を開催いたしました。今後はさらに競争力を高め、中国の電子楽器市場におけるシェアを拡大してまいります。



◆中国(上海)国際楽器展覧会 (Music China 2012)

10月11日から4日間、上海にて楽器展覧会が開催されました。中国の楽器市場は大きな注目を集めており、ピアノメーカーをはじめ昨年よりさらに多くの企業が参加しました。

当社は、正面に新 Shigeru Kawai グランドピアノを展示し、来場者が自由に試弾できるようにしたこともあり、多くの来場者の注目を集めました。



トピックス

復興支援

被災地にピアノを届けたい

4月に開催した東日本大震災の被災地復興チャリティーコンサートでの収益金と当日集めた募金によりグランドピアノ『RX-2』を、岩手県大船渡市立大船渡北小学校へ寄贈いたしました。さらに宮城県気仙沼市の小学校にもアップライトピアノ『K-3』を寄贈いたしました。コンサートに関わった全ての人の想いを届けることができ、支援活動は大変意義のあるものとなりました。

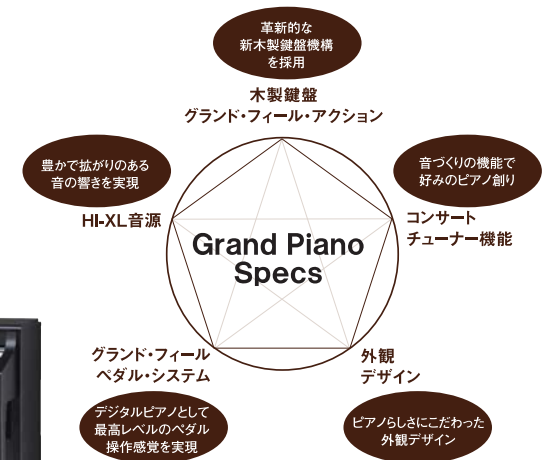


新商品

◆デジタルピアノ『CA95』『CA65』発売

デジタルピアノ Concert Artist シリーズの『CA95』『CA65』の2機種を発売いたしました。CA シリーズは、アーティストが使用するコンサートグランドピアノを目標として開発したデジタルピアノです。今回のリニューアルで新型木製鍵盤や新音源システムなどを採用し、当社が目指す“Grand Piano Specs (グランドピアノ仕様)”をより推し進め、さらに一歩グランドピアノに近づきました。

また『CA95』が、「2012年度グッドデザイン賞」を受賞いたしました。審査委員からは「コンパクト、省スペースでありながら、さもグランドピアノのような音質と演奏時の雰囲気をつくりあげる」との評価をいただきました。



決算情報

会社概況 (2012年9月30日現在)

■連結貸借対照表(要旨)			(単位:百万円)	
科 目	当上半期 '12.9.30現在	前期 '12.3.31現在		
(資産の部)				
流動資産	18,770	19,426		
固定資産	17,059	17,098		
有形固定資産	13,840	13,692		
無形固定資産	572	707		
投資その他の資産	2,645	2,698		
資産合計	35,829	36,525		
(負債の部)				
流動負債	10,222	10,580		
固定負債	10,706	11,186		
負債合計	20,928	21,766		
(純資産の部)				
株主資本	16,513	16,417		
資本金	6,609	6,609		
資本剰余金	744	744		
利益剰余金	9,173	9,077		
自己株式	△14	△14		
その他の包括利益累計額	△1,612	△1,658		
純資産合計	14,900	14,758		
負債及び純資産合計	35,829	36,525		

■連結損益計算書(要旨)			(単位:百万円)	
科 目	当上半期 '12.4.1～'12.9.30	前上半期 '11.4.1～'11.9.30		
売上高	27,414	28,357		
売上原価	20,401	21,084		
売上総利益	7,012	7,273		
販売費及び一般管理費	6,090	6,107		
営業利益	922	1,165		
営業外収益	97	98		
営業外費用	214	325		
経常利益	805	938		
特別利益	0	44		
特別損失	3	122		
税金等調整前四半期純利益	802	859		
法人税等	364	268		
四半期純利益	438	591		

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)			(単位:百万円)	
科 目	当上半期 '12.4.1～'12.9.30	前上半期 '11.4.1～'11.9.30		
営業活動によるキャッシュ・フロー	593	444		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△833	△196		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,026	△1,460		
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	28		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,252	△1,183		
現金及び現金同等物の期首残高	7,064	7,697		
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,812	6,514		

●会社の概要

商 号	株式会社河合楽器製作所
	[英文表記] KAWAI MUSICAL INSTRUMENTS MANUFACTURING CO.,LTD.
創 立	1927(昭和 2)年8月 9日
設 立	1951(昭和26)年5月15日
資 本 金	6,609百万円
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所市場第一部
主 な 事 業	楽器の製造、仕入並びに販売 音楽教室・体育教室の運営 金属加工品・木工加工品の製造、仕入 並びに販売
従 業 員 数	連結2,827名／単体 1,433名

●事業所

本 社	〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地
工 場	[国 内] 竜洋工場(静岡県磐田市)など [海 外] インドネシア、中国
営 業 拠 点	[国 内] 関東支社(東京都渋谷区) 中部支社(名古屋市中区) 関西支社(大阪市中央区) [海 外] アメリカ、ドイツ、中国など

●役 員

代表取締役社長	河 合 弘 隆	執行役員	稲 垣 誠
取締役(副社長執行役員)	佐 野 良 夫	執行役員	日 下 昌 和
取締役(常務執行役員)	小 倉 克 夫	執行役員	西 尾 正由紀
取締役(常務執行役員)	大 窪 素 雄	執行役員	富 山 千 広
取締役(常務執行役員)	村 上 二 郎	執行役員	伊 藤 照 幸
取締役(上席執行役員)	金 子 和 裕	執行役員	江 部 博
社外取締役	片 桐 一 成	執行役員	玉 村 邦 明
常勤監査役	河 崎 哲 男	執行役員	大 神 正 清
常勤監査役	嶋 岡 伸 治	執行役員	合 田 光 範
社外監査役	都 築 知 也	執行役員	牛 尾 浩
社外監査役	田 畑 隆 久	執行役員	河 合 健太郎

●株式の状況

- 1.発行可能株式総数 342,000千株
- 2.発行済株式の総数 85,520千株
(自己株式89,752株を除く)
- 3.株主数 8,765名
- 4.主要株主

株 主 名	株式数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,400
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,245
株式会社河合社団	4,778
東京海上日動火災保険株式会社	2,750
明治安田生命保険相互会社	2,700
カワイ従業員持株会	2,599
河合楽器取引先持株会	2,397
共栄火災海上保険株式会社	2,250
株式会社静岡銀行	2,040
日本生命保険相互会社	1,873

5.株主構成

